

新入生の皆さんへ

教養科目の先着順登録のお知らせ

教育センター

《このお知らせでお願いしたいこと》

4月6日(土)から「学部指定科目群1」と「言語と文化1」の先着順登録が始まります(学科ごとに開始時間が異なります)

★このお知らせに記載された科目の履修希望順位を決めておいてください

1. 先着順登録とは？

千葉工業大学の科目は、専門科目と教養科目に大別されています。

特定の分野の教養科目では定員を設けており、事前の受講人数調整が必要なことから、**先着順で登録を受け付け**ます。定員に達した科目やクラスは登録できない状態になります。

先着順登録を行う科目は、『国際理解』分類の「**言語と文化1**」と、『人間・社会・自然の理解』分類の「**学部指定科目群1**」の科目です。

先着順で登録できた科目は自動的に履修登録されます(詳しくは、各学科の修学ガイダンスで説明します)。

2. 先着順登録のスケジュール

「言語と文化1」と「学部指定科目群1」の**前期分**履修登録の日時

4月6日 (土)	10:00~23:59	機械電子創成工学科、応用化学科、都市環境工学科、生命科学科 情報工学科、認知情報科学科
	11:00~23:59	先端材料工学科、情報通信システム工学科、デザイン科学科 知能メディア工学科、高度応用情報科学科、経営デザイン科学科
	12:00~23:59	機械工学科、電気電子工学科、建築学科、未来ロボティクス学科 デジタル変革科学科

「学部指定科目群1」の**後期分**履修登録の日時

4月6日 (土)	15:00~23:59	機械電子創成工学科、先端材料工学科、情報通信システム工学科 応用化学科、都市環境工学科、未来ロボティクス学科 デジタル変革科学科、経営デザイン科学科
	16:00~23:59	機械工学科、電気電子工学科、建築学科、デザイン科学科、生命科学科 知能メディア工学科、情報工学科、認知情報科学科、高度応用情報科学科

3. 結果の周知方法

先着順登録の結果は、履修登録期間に CIT ポータルの「学生時間割表」で、各自ご確認ください。

CIT ポータルサイト：<https://portal.it-chiba.ac.jp/uprx/>



4. 先着順登録 —『国際理解』分類—

国際理解分類の「言語と文化1」「言語と文化2」および「異文化理解」は卒業までに全て修得しなければいけない必修科目です。

1年前期に「言語と文化1」、1年後期に「言語と文化2」を受講しますが、この科目は「**ドイツ語圏**」「**フランス語圏**」「**中国語圏**」に分かれており、**前期・後期とも同じ語圏のクラス**で学びます。(「言語と文化1」で決まった語圏で後期の「言語と文化2」を履修登録期間中に履修登録してください。)

4月6日に、CIT ポータルで先着順登録を行いますので、**3つの語圏の希望順(第1希望～第3希望まで)を考えておいてください。**
先着順登録の結果を確認し、登録できた語圏のクラスを受講してください。

言語の選択を迷っている皆さんへ(それぞれの言語を学ぶメリット紹介)

<p>【ドイツ語】</p> <p>Guten Tag! (グーテン ターク)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツは、音楽や文学などの芸術、ビールやソーセージなどの食文化やサッカーなど、多様な文化を持つ国です。 ・ドイツ語は英語と兄弟の言語なので、似たところが多くあります。でも、似ていないところもあり、言語の歴史的な変化や多様性を感じることができます。 ・ドイツ語の発音は、「書いてあるとおりに読む」ので一度覚えると簡単です。 例：Name (ナーメ), Karte (カルテ), gut (グート) ・Arbeit, Baumkuchen, Allergie, Schale など日本語になった言葉もたくさんあります。 ・ぜひ一緒にドイツ語圏の言語と文化を学びましょう。
<p>【フランス語】</p> <p>Bonjour! (ボンジュール)</p>	<p>フランス語はオリンピックの公用語です！(他にも国連、UNESCO、国際博覧会事務局で使用されています)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法はとにかく規則的！規則さえ覚えれば、全て理解できる！ ・発音まで規則的！発音の規則さえ覚えれば、どんな単語でも発音可能で英語よりも簡単！(英語が苦手な人ほどフランス語の発音は上手！) ・フランス語というだけで「おしゃれ～」と言われる！(ことがある) ・特に、英語が苦手な人にはぜひともおすすめしたい言語！ <p>そして今年はパリオリンピックが開催されます！オリンピック観戦を100倍楽しむためにも、フランス語圏の言語と文化を学んでみよう！</p>
<p>【中国語】</p> <p>你好！ (ニイハオ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語は世界で一番、話者の多い言語です。中国語や漢字を使うのは中華人民共和国だけではなくありません。日本や台湾、シンガポール、マレーシア、タイなどアジアの各国、そして世界中に中国語を母語とする人びとが暮らしています。 ・発音は日本語にはない音もあるので、最初は難しいかもしれませんが。中国式ローマ字綴りが私たちの味方です。日本語や英語の知識が邪魔してくるので一筋縄ではいきません。自分にとっての「当たり前」を見直す体験が中国語には沢山ありますよ！ ・似ているところ、違うところ、両方を体験しながら、楽しく中国語圏の言語と文化と一緒に学びましょう！

※ 全て入門者向けのクラスとなります。外国人留学生や留学経験があり、既にドイツ語、フランス語、中国語になじみのある場合は、未知の言語を選択してください。

5. 先着順登録 ー『人間・社会・自然の理解』分類ー

人間・社会・自然の理解分類は、1年から4年で開講する科目です。この分類には、専門科目との繋がりを考慮して、「学部指定科目群」というグループが設定されています。学部指定科目群については、各学科の修学ガイダンスで詳しく説明があります。**前期・後期分を同日に登録する**ので注意してください。

4月6日からiPad>CITポータル先の先着順登録を行うので、**自分の学科の「学部指定科目群1」を下の表で確認し、次ページの【科目概要】を参考に、6科目の希望順(第1希望から第6希望まで)を考えておいてください。**

【学部指定科目群1】

『人間・社会・自然の理解』分類の1・2年次開講科目

学部名	学科名	哲学	倫理学	文学と芸術	歴史と人間	心理学	身体と健康の科学	憲法と社会	現代社会論	科学技術史	環境科学概論
工学部	機械工学科 先端材料工学科 応用化学科		○	○			○	○	○	○	
	機械電子創成工学科 電気電子工学科 情報通信システム工学科	○	○		○			○	○		○
創造工学部	建築学科 都市環境工学科 デザイン科学科	○		○	○	○	○			○	
先進工学部	未来ロボティクス学科 生命科学科 知能メディア工学科	○	○	○			○			○	○
情報変革科学部	情報工学科 認知情報科学科 高度応用情報科学科		○			○	○	○		○	○
未来変革科学部	デジタル変革科学科 経営デザイン科学科	○		○	○	○		○	○		

※教職課程を履修する学生は、必ず「憲法と社会」を選択してください。
(学部指定科目群1は、1年前期・後期、2年前期の3回履修の機会があります。)

【科目概要】

科目名	授業概要
哲学	哲学を学ぶことを通じて、人間とは何か、また人間は世界といかに関わっているかという事柄について考え理解するための観点や思考方法を身につけることを目的とする。これまで展開されてきた哲学史の中でなされてきた議論の要点を参考にしながら、人間と世界のあり方を考察するための様々な問題設定の方法や論理的な思考方法を学ぶ。その上で、知識、行為、価値、存在、自由、自我、他者といった事象をめぐる諸問題について理解し、それについて自ら考える力を養い、更に新たな問題を発見する態度を身につけることを目標とする。
倫理学	「倫理学」では、現代文明が直面する倫理的問題のなかでもいわゆる「応用倫理」と呼ばれるものをとりあげる。まずそれらが現代の科学技術によってつくりだされていることを確認した上で、問題を解決しつつ問題発生を防止するためには、われわれ人間はこうした科学技術をいかに管理してゆか、また、そのときに技術者の役割と責任はどのように考えるべきか、13回の講義をとおして事例などを紹介しつつ、考える力を養成することを狙いとする。
文学と芸術	文学作品や芸術作品の鑑賞や批評を通じて、人間への洞察を深め、ものの見方、感じ方、考え方を広げることが目的とする。また、それぞれの作品が生み出された時代や社会の背景を理解する。人間の感情及び思想の表象原理、作品の主題、その歴史的社会的意義を明らかにしながら、人生の目的や価値について考え、よりよく生きることを意味を探り、豊かな感受性を育む。更に作品受容に関して、批評とはどのようなことかを検討し、批評主体の確立についても考察を深めたい。
歴史と人間	過去から現在に至る人類の歩みについて、政治・経済・社会・宗教といった幅広い観点から理解するための基本的な視座を提供する。日本史や世界史の基礎的な知識をあたえるだけでなく、それぞれの地域の歴史がもつ独自性と世界的な普遍性の両面に光をあてることで、過去の事象を世界規模の時系列的な因果関係のなかに位置づける能力を養う。他日、国際社会に出た学生が、独善に陥ることなく自国の置かれた立場を理解し、客観的に自らの立脚点を説明することに耐えられる資質を育てる。
心理学	本講義では、心のメカニズムについて科学的手法により解明された知見とその応用を理解する。具体的には、人の認知・思考、感情、行動のそれぞれの特徴、関連の仕方、発達の変容に関する理論を取り扱う。更に、そういった心理学の知見や理論が社会の様々な場面で活用されていることを紹介し、グループワーク等も実施する。本講義の狙いは、学生が自分自身や他者に対する理解をより一層深めること、心理学の知識を生活に応用し役立てることができるようになることである。
身体と健康の科学	本科目は、単にヒトの「身体」や「健康」についての知識を獲得するのではなく、専門分野の枠を超えて人文科学、社会科学、自然科学などの様々な学問分野との関連を踏まえながら共通に求められる知識や思考法の獲得をめざす。特に、超少子高齢社会に突入した我が国では、人々が健康で豊かに過ごす時間を延伸することは非常に重要な課題となっている。それと同時に、ヒトの「身体」や「健康」とは何かについて考え直す時期にも来ている。社会構造の急激な変化や科学技術の進展に伴う人間の価値観の多様性を踏まえながら、「身体」や「健康」における課題とその解決方法や、身体や健康と関わりのある体育・スポーツについて考察する。
憲法と社会	そもそも憲法とは何であり、人間社会にとって憲法の存在はいかなる意味を有しているのか。憲法というものの定義から始まり、憲法全体にわたる基本的な知識を習得することがこの授業の目的である。古今東西の様々な憲法に共通する憲法の基本原理を学んだ上で、特に日本国憲法についての理解を深める。日本国憲法は統治機構と権利章典という大きく2つの部分から構成されているが、この両者についてできるだけ正確な知識を身につけることをめざす。
現代社会論	現代の日本社会、及び国際社会における諸問題について具体的に考察をしながら、現代社会のあり方について認識を深めていくことを目的とする。とりわけ、労働問題、教育・青少年問題、国際的な公害・環境問題、戦争と平和をめぐる問題、家族や子育ての問題、福祉や社会保障の問題、情報環境の変化をめぐる問題等を取りあげながら、考察を深めていく。そして、授業を通じて、現代社会に生きる市民として、幅広い視野とグローバルな視点をもって自ら主体的に考え、行動することができる教養・態度・能力を身につけることを目標とする。
科学技術史	本科目では、科学と技術の展開をそれらの相互関係を含めて歴史的に検討することを目的とする。科学の歴史としては、ニュートン力学を中心とした近代科学の成立過程を含めて、当時の自然哲学者・科学者たちが対峙した困難を当時の文脈から検討し、それらの科学的意義を理解していく。技術の歴史としては、イギリス産業革命における綿工業の展開や蒸気機関の発展などを理解するとともに、19世紀以降の科学と技術の接近とそれらの共進的展開及び社会との関係なども分析する。
環境科学概論	本講義は、科学技術の進歩に伴う地球規模での環境変化を事例に挙げ、広範で複雑な環境問題の現状を、物質を中心とした視点から把握すると同時に、科学的解決法の糸口を探ることを目的とする。特に温暖化、オゾンホール、酸性雨、生物多様性の喪失、食糧、砂漠化、原子力、廃棄物等の事例について詳細に解説し、これらの問題を解決するために開発された新技術や新素材による将来像を展望して、材料科学の観点からも環境科学を学ぶ。また、未来へとつながる環境の姿を考察し、現代に生きる人間としての規範をも考える。